

財務諸表に対する注記

(令和5年度)

1. 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法

国債満期保有目的のため、取得価格で計上している。
- (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし
- (3)固定資産の減価償却の方法

什器備品(平成19年4月1日以降に取得したもの)定率法

建物附属設備(平成28年4月1日以降に取得したもの)定額法

(4)引当金の計上基準

該当なし

(5)リース取引の処理方法

該当なし

(6)消費税等の会計処理

該当なし
2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
- 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)
- | 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---------------|-------------|-------|-------|-------------|
| 基本財産 | | | | |
| 銀行預金 | 11,602,148 | 0 | 0 | 11,602,148 |
| 利付国債(30年)第11回 | 420,000,000 | 0 | 0 | 420,000,000 |
| 小 計 | 431,602,148 | 0 | 0 | 431,602,148 |
| 特定資産 | | | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小 計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 431,602,148 | 0 | 0 | 431,602,148 |
3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
- 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)
- | 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの
充当額) | (うち一般正味財産からの
充当額) | (うち負債に対応する額) |
|---------------|-------------|----------------------|----------------------|--------------|
| 基本財産 | | | | |
| 銀行預金 | 11,602,148 | (11,602,148) | (0) | — |
| 利付国債(30年)第11回 | 420,000,000 | (420,000,000) | (0) | — |
| 小 計 | 431,602,148 | (431,602,148) | 0 | — |
| 特定資産 | | | | |
| | 0 | (0) | (0) | — |
| 小 計 | 0 | (0) | (0) | — |
| 合 計 | 431,602,148 | (431,602,148) | (0) | — |

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	1,566,000	1,565,999	1
建物附属設備	1,034,478	467,850	566,628
合 計	2,600,478	2,033,849	566,629

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。(単位:円)

補助金等の名称	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
受取民間助成金				
一般財団法人日本宝くじ協会 公益法人等が行う公益事業 への助成に係る助成金	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

6. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価益
利付国債(30年)第11回	420,000,000	458,976,000	38,976,000
合 計	420,000,000	458,976,000	38,976,000

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄附金への振替額	0
合 計	0

8. その他

使途に制約のある寄付金を受け入れたが、当期事業年度末までに目的たる支出を行ったものは、受入額を一般正味財産増減の部に記載した。